

令和6年度 第3回 和泉市公共交通利用活性化プロジェクト委員会 議事要旨

【会議概要】

- ・ 日 時：令和6年11月27日(水)14:00～15:00
- ・ 場 所：和泉市コミュニティセンター1階大集会室
- ・ 欠席者：加納委員、小川委員、小林委員

【次第】

1. あいさつ
2. 委員紹介
3. 議案
 - 1) 中山間地域における路線バスの一部見直しと代替交通案について
4. その他

【議事概要】

1. あいさつ

森吉委員長：本日はお忙しい中、ご出席いただき、また本市の公共交通行政をはじめ、市政にご協力いただき感謝申し上げます。8月の本員会において、南海バスの中山間地域における路線区間の廃止、ならびに市の代替交通案について審議いただいたが、南海バスからも説明があったように、人口減少またコロナ禍以降の生活スタイルの変化からバス利用者が減少という中で、乗務員不足が深刻な状況に至っていることなど、全国的に路線バスをとりまく情勢は厳しいものとなっている。現在、市において関係する地域の代表者や住民向けに廃止内容や代替案について説明に回っているが、今回の路線の廃止には地域として、通勤通学の対応、また高齢者や免許返納者等の観点からも意見があり、将来的な不安についての声がある。公共交通につきましては、これまで、時代の変容に応じ、多様な形態をとっており、来年開催される大阪・関西万博においては、カーボンニュートラルが実現された「未来社会」として、レベル4相当の自動運転や新技術を融合させたEVバス、次世代モビリティとしての空飛ぶクルマを体験することができ、今後、その技術が社会実装されることで多くの交通課題の解消につながるものと期待が寄せられている。市としても、このような取り組みにも注視しながら、委員の皆様と連携し、本市における持続可能な公共交通の取り組みを今後も進めていきたいと考えている。本日の議案について、皆様には多様な観点からご審議いただきたい。

2. 委員紹介

(省略)

3. 議案

1) 中山間地域における路線バスの一部見直しと代替交通案について

(中井委員より資料1、事務局より資料2の説明)

伊勢副委員長：事務局からの説明について質問や意見等はあるか。

井本委員：事務手続き上の話ですが、天野山線が国の幹線補助申請の中で、包括的な合意として10%以上の計画日数、キロ数の増減があれば協議会の開催なく変更を提出することになっている。ご存じかとは思いますが念頭に置いていただきたい。

武市委員：市内の観光地、特に南部地域における交通手段の問い合わせが多く、HPなどで公表、情報発信する時期はいつになるのか。

事務局：今から12月にかけて認可申請等を行い、年明けにリーフレット、パンフレットの作成した後の公表となるので、予定としては1月下旬～2月はじめにかけて公表を行う予定である。

伊勢副委員長：今回変更するが、異議はないか。緊急的措置なので運行開始してからの状況によって、運行計画を見直すことは事務局として検討していくのか。

事務局：地元説明会の中でも緊急的に運行していくことを説明しているが、利用状況等を考慮し、便数やダイヤを今後見直していく事で考えている。

伊勢副委員長：住民説明会で主だった意見、批判的な意見など、説明会をした中で、いくつか紹介できる意見はあるか。

事務局：住民説明会をした中で共通的な質問については、定期利用は今後どうなるのかなど、通勤・通学に関わる意見がどの地域からもあった。また、地域によっては、バスの便数について非常に厳しい意見も出たが、市として頂いた意見を取り入れながら運行計画を作成したものである。

伊勢副委員長：この件について、ご異議がないか。

(一同異議なし)

伊勢副委員長：この件について、ご異議がないということで承認いただいたので、事務局は計画に沿って進めていただきたい。今日の議案については以上になるが、他にご意見、確認漏れなどはないか。

大石委員：調整中の部分について、今後どのようなかたちで皆さんにお知らせするのか。

クローズドドアに出来るかの調整や、開始するまでのやりとりや対応の流れは。

事務局：定期の取り扱いについて、現地点で南海バスと調整中である。クローズドドアについては、警察と安全面からどこに設置できるか等の協議中である。今後皆さんにどのようなかたちでお知らせするかは検討中であるが、メールなどの連絡出来る手段で対応する。

大石委員：バス路線が大きく見直されるとき、公共交通のあり方を改めて捉え直して、次の形に向けて関係者の皆さんの意識が集中出来るタイミングでもある。開始までの時間を次の姿を目指すことを考える時間であり、すごく大事だと思う。

4. その他

伊勢副委員長：クローズドドアが出来るかを周知だけでいいのか、承認みたいなかたちで書面でのやり取りが必要なのか。提案出来なければ、この案を見送るという可能性も含めて承認いただいている解釈でいいのか。

大石委員：法令上は停留所をどのように設置するか、停車する場所などを、協議で承認議決の対象としなくても認可出来る。すごく重要な乗降場所、特に幹線としての乗降場所であれば、個別に協議会で取り上げて承認することも可能である。一般的には制度上は必ずしも議決しなくても申請に及んでも問題ない。

伊勢副委員長：協議中のところについては、地元説明会でも今みたいな丁寧なやりとりをする必要がないような話になっているのか。

事務局：南松尾はつが野校区の地元説明会の中で、当初は停止せず通過すると説明をした中で、乗降できないかという意見が出たので、対応出来るものなのか、警察も含めて協議している状況である。

伊勢副委員長：この点については決まり次第、住民の方に丁寧にご説明していただきたい。

原田委員：事務手続きの話だが、鳳土木が管理している道路にバス停が今現在あり、南海バスが占有者となっている。来年4月1日時点で南海バスから和泉市へ変わるのか。変わるのであれば、占有者の名前がかわってくるので、更新手続きが必要になってくる。また、新たなバス停もあるのか。

中田委員：弊社が運行している分については、そのまま占有許可を提出する。

伊勢副委員長：本日は、廃止・変更に伴う代替交通案としてご提示いただいた訳ですが、このタイミングで承認いただいて進めないと廃止になった後にスムーズにサービスを提供できないので、かなり事務局としてもかなり詰めて緊急的な措置を検討いただけたかと思う。資料のとおり緊急的な措置なので地域にとってベストか分らないが、今後チェックをしながらサービスを検討していくということになるので、次回以降の委員会において、引き続き、活発な意見等をいただければと思う。

5. 閉 会

事 務 局：本日は長時間にわたり熱心に議論いただき、感謝申し上げます。これにて本日の和泉市公共交通活性化プロジェクト委員会を閉会する。

以上

【会議の様子】

